

先進医療技術審査部会において承認された新規技術に
対する事前評価結果等について

整理 番号	技術名	適応症	医薬品・ 医療機器情報	保険給付されない 費用※1※2 (「先進医療に係る費用」)	保険給付される 費用※2 (「保険外併用療養費 に係る保険者負担」)	保険外併用療養費分 に係る一部負担金	事前評価		その他 (事務的 対応等)
							担当構成員 (敬称略)	総評	
056	特発性肺線維症の急性増悪患者に対するトレミキシンを用いた血液浄化療法の有効性及び安全性に関する探索的試験	特発性肺線維症の急性増悪	・エンドトキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器、トレミキシン (東レ株式会社)	170万6千円(3回分) (患者負担分は、73万1千円であり、97万5千円は企業より無償提供される)	155万5千円	66万5千円	福井 次矢	適	別紙8
057	早期胃癌に対するセンチネルリンパ節を指標としたリンパ節転移診断と個別化手術の有用性に関する臨床試験	早期胃癌(術前診断T1N0、腫瘍長径4cm以下、単発性)	・ジアグノグリーン注射用25mg ・インジゴカルミン注20mg (第一三共株式会社) ・スズコロイドTc-99m注調整用キット ・テクネシンチ注-10M (日本メジフィクス㈱) ・モービルワークステーション (オリンパスメディカルシステムズ㈱)	6万円(1回)	109万3千円	46万8千円	北村 惣一郎	適	別紙9
058	先天性高インスリン血症に対するオクトレオチド持続皮下注射療法	ジアゾキサイド不応性先天性高インスリン血症(高インスリン血症低血糖症)	・サンドスタチン皮下注用100μg (ノバルティスファーマ株式会社)	169万1千円 (全額、厚生労働科学研究費より支出予定)	103万5千円	26万9千円	五十嵐 隆	適	別紙10

※1 医療機関は患者に自己負担額を求めることができる。

※2 典型的な1症例に要する費用として申請医療機関が記載した額。

【備考】

○ 先進医療A

- 1 未承認等の医薬品若しくは医療機器の使用又は医薬品若しくは医療機器の適応外使用を伴わない医療技術(4に掲げるものを除く。)
- 2 以下のような医療技術であって、当該検査薬等の使用による人体への影響が極めて小さいもの
 - (1)未承認等の体外診断薬の使用又は体外診断薬の適応外使用を伴う医療技術
 - (2)未承認等の検査薬の使用又は検査薬の適応外使用を伴う医療技術

○ 先進医療B

- 3 未承認等の医薬品若しくは医療機器の使用又は医薬品若しくは医療機器の適応外使用を伴う医療技術(2に掲げるものを除く。)
- 4 未承認等の医薬品若しくは医療機器の使用又は医薬品若しくは医療機器の適応外使用を伴わない医療技術であって、当該医療技術の安全性、有効性等に鑑み、その実施に係り、実施環境、技術の効果等について特に重点的な観察・評価を要するものと判断されるもの。